

祝祭日
休刊

平成 2 5 年 (2013 年) 2 月 1 6 日 土曜日 (日刊)

個人備蓄の推進へ

尾鷲市 非常食機構と協定締結

尾鷲市は十五日、四及啓発に関する協定」
日市市の日本非常食推
進機構と「災害救助に
必要な物資の調達と普
活用物資の個人備蓄



白い小箱を手にする岩田市長(左)と機構の古谷代表

を推進するための啓発
活動を行うことで、市
民の防災意識の高揚を
図るとともに、災害が
発生、または発生する
恐れがある場合に、災
害用物資を活用した速
やかな調達と供給を行
い、市民の安全と安心
に資することが目的。
同機構では平成二十
三年十一月から非常食
など一人一日分の災害
用物資「白い箱」の普
及運動を展開してお
り、これまでに県およ
び県内十五市町と協定
を交わしている。
市長室で行われた調

印式には、岩田昭人市
長、横田浩一副市長、
川口明則防災危機管理
室長と日本非常食推進
機構から古谷賢治代表
理事が出席し、協定書
に署名した。

署名を終えた古谷理
事は「皆さんに危機意
識を持ってもらい、お
互いが助け合える任組
みを構築し、行政の協
力の下、活動を広げた
い」と述べ、岩田市長
は「たいへん心強い契
約です。市民の皆さん
が自助という観点で備
蓄を常備することが大
切で、これを機会に啓
発に努めたい」とお礼
を述べた。

白い小箱には非常
食、ブドウ糖、防寒シ
ート、飲料水、簡易ト
イレなどが入ってお
り、二十三日に市体育
文化会館で開かれる避
難所体験訓練の中で、
協定に基づく啓発事業
として、白い箱の配布
イベントを行う。
なお、尾鷲市の公的
備蓄は、現在人口の一
割三分で、今年度中
に二割五分に増やす
こととしている。